



一歩前進

第4号
7月18日発行
文責:林

重点目標:自分も人も大切に考動(こうどう)する笑顔いっぱい湯浦っ子
育てたい資質・能力:共感力(やさしく) 探究力(かしこく) 協働力(たくましく)

第一学期は、皆様のご協力で、無事終えることができました

運動会前の長雨や梅雨明け後の酷暑など、子どもの安心・安全を保障するうえで、心配されることの多かった一学期でしたが、皆様のご協力により、無事終えることができました。中でも、運動会につきましては、随分とご心配をおかけしましたが、ご理解・ご協力いただきましたことに、改めて感謝いたします。

さて、二学期は、一学期末に皆様にお願ひしました保護者アンケートと、子ども自身のアンケート、教職員によるアンケートの結果を分析し、学校教育の改善に取り組んでまいり所存です。今後とも、「共育」の視点に立ったサポートをよろしくお願いいたします。

まだまだ暑い夏が続きますので、健康に十分ご留意され、少し長くなる子どもと過ごされる時間を、家族の絆を深める時間として、ご活用いただければ幸いに存じます。



夏休みは自主性を育てるよい機会です

明日から、44日間の夏休みがスタートします。子どもだけで家庭で過ごす時間が長くなることに不安を持たれるかもしれませんが、しかし、子どもが家族の一員としての役割を果たしたり、親子で決めたルールを確実に実行したりする経験をとおして、一学期以上にたくましく成長できる期間でもあります。何もかも保護者がするのではなく、家族の一員として何ができるかを考えてみましょう。できそうなことを少し紹介します。

- 朝、決まった時刻に起床し、自分から「おはようございます」と言うようにする。
- 朝自分で起きた後、用意されたご飯を決まった時刻までに食べる。⇒食べた後を自分で片付ける。
- 朝涼しい時間に、1時間(学年に応じて)机について勉強をする。(テレビ等は見ない)
- ゴミ出しや風呂入れ、花の水やりなど、家族のためにできることを何か一つ以上行う。
- 毎日自分の部屋や布団、衣服の整理・整頓をする。
- 家庭で決めた時刻に、自分から「おやすみなさい」と言って先に就寝する。

どれも、何気ないことですが、これらのことを(一つでも)夏休み期間やりきることができれば、自立への階段を一步上ることができます。そこで、重要なのが、「どんな些細なことでも、できたことをほめる」ということです。「ありがとう」「助かった」「さすがだね」「次も頼んだよ」など、賞賛と信頼の言葉が重要です。学校でも家庭でも「認め、褒め、励まし、伸ばす」ことを大事にし、子どもたちの健やかな成長につなげてまいりましょう。

同様に、何気ないことですが、例え家族であっても「おはようございます」「おやすみなさい」を言い合うことです。これを実行されていたのはドイツ出身で日本に住み着いたある学者の方です。実際には、就寝前に必ず「今日も一日ありがとうございます。おやすみなさい」と、お子さんに言わせるようにされていたとのことです。

「親しき仲にも礼儀あれ」と言いますように、私たち日本人が大事にしてきたことでもあります。

【健康診断の結果から】…むし歯予防の成果有り! 30%⇒16%

フッ化物洗口を熊本県が導入したことで分かるように、本県はむし歯の患者数が多い県です。令和2年の厚生労働省むし歯患者数都道府県ランキング【患者の割合が多い順】では全国6位(1万人当たり193人)でした。お隣の鹿児島県は全国46位(1万人当たり55人)と随分違うものです。しかし、これまでの学校と家庭の協力により、本校では、8年前約30%であったむし歯保有児童の割合が16%まで低下しました。これも「共育」の成果だと思います。ちなみに、昨年度末の治療完了率は75%でした。夏休み等を利用して、今年度は治療完了率100%を達成しましょう。



あしきた健康隊による
むし歯予防の劇

湯浦っ子の読書量!…一学期の結果より

湯浦小学校では、子ども一人一人が「月に3冊以上」読書することを目指しています。一学期の一人当たりの読書冊数をお知らせします。(3冊×4ヶ月=12冊が目安となります。)

1年生(21冊)、2年生(22冊)、3年生(15冊)、4年生(12冊)、5年生(22冊)、6年生(9冊)

読み聞かせサークルひまわりの皆さんによる朝の読み聞かせの効果もあつての結果だと思います。夏休み前に図書を購入した子どももいます。長い夏休み、タブレットPCやテレビ、ゲームなどの画面を閉じ、静かに読書する時間を確保されることをおすすめします。私自身、日々テレビではなく、YouTubeを何気なく観てしまうことが多くなりましたが、最近読み始めた本が三冊あります。「徳川家康弱者の戦略(磯田 道史 著)」「『増刷』決定版・日本史(渡辺 昇一 著)」「やりたいことは全部やりなさい(森永 卓郎 著)」です。老眼に苦勞しながらも、読み始めると、心穏やかに眠れるような気がします、映画「パーフェクト・デイズ」の役所広司さんのように。

